

令和2年度 事業計画

事業方針

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取り組みにより「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の延期や経済への影響など、感染拡大の収束が見えない中、非常事態宣言による自粛要請等が発令されたことで、観光産業を取り巻く環境は厳しい状況にある。

観光は、安全・安心の担保が極めて重要であり、地域経済に及ぼす影響の大きさや地域の持続可能性の確保に資する産業であることを改めて痛感するものである。

この未曾有の危機を乗り越えるため、国・県・市・関係団体との連携による各種施策を講じながら、新型コロナウイルス感染症拡大の収束を見据えつつ、インターネットを活用した商品の販売や動画・SNSを活用した地域の情報発信を行い、誘客事業の再開に向け様々な態勢を整えることとする。

重点事業

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況下における事業及び感染拡大の収束を見据えつつ、誘客事業の再開に向け準備に取り組む。

※【 】内数字は、いわき市観光まちづくりビジョンで策定した基本戦略及びアクションプランを位置づけたものでありますが、今後、新型コロナウイルスの情勢により変更となる場合があります。

1 産品ネットショップ「いわきの逸品」キャンペーンの実施

【Ⅰ-1-(2)】(事業費：528千円)

「買ってつながる いわき支え合いキャンペーン」の展開
感染症拡大の影響により販売が激減した産品を中心に、送料等を無料としたお得感を醸成するキャンペーンを「いわきの逸品」サイト内で展開する。

2 ネット販売ページの一括宣伝【Ⅰ-1-(2)】(事業費：50千円)

ビューローの運営する「いわき市観光サイト」内において、ネット販売ページを所有する事業者を広く宣伝することにより、直接ネット販売に繋がるよう事業者のネット販売を支援する。

3 #いわき支えあいキャンペーン第3弾「いわきのお宿にエール」プロジェクト

(事業費：6,000千円)

感染症の収束後に使える前売りチケットを販売し、当面の資金調達と収束後の誘客に資することとする。なお、前売りチケットについては、クラウドファンディングを活用したプレミアムチケットとする。

4 インターネット等の活用による継続した情報発信【Ⅰ-1-(1)(2)】(事業費：350千円)

いわきの見所や旬の情報を動画やSNS等の活用により情報発信することによって、「いわきを訪れた気分」になっていただき、再開後の誘客活動の基盤とする。

5 事業再開を見据え、受入態勢を目的にガイドの育成に取り組む

【Ⅲ-5-(3)】(事業費：1,500千円)

いわき地域学会をはじめ関係団体と連携し、本市に関する基礎知識(市勢、自然、史跡、人物、伝統行事、交通・産業、観光施設など)の習得に併せ、おもてなし(コミュニケーションや外国人の知識、緊急対応など)を習得させ、ガイド(案内人)を育成する。

基本事業

I 公益事業

次の事業を行う。なお、新型コロナウイルスの情勢により、計画等内容が変更となる場合があります。

◆新型コロナウイルス感染症の情勢を見据えながら事業に取り組む

1 二次交通サポート事業【Ⅲ-4-(3)】【Ⅲ-5-(4)】(事業費：1,132千円)

市内の地域資源やスポットを組み合わせた周遊コースや旅行商品を造成するため、二次交通の整備に取り組む。

2 いわき市石炭・化石館企画展【Ⅲ-3-(3)~(5)】(事業費：13,000千円)

更なるPRとともに、常磐炭田史研究会やいわきヘリテージツーリズム協議会、地元各種団体やボランティア等との連携を図り、魅力ある企画展等の開催に努め、地域振興を推進する。

(1) 4/25(土)~7/5(日)春の企画展「炭鉱とスポーツ」 ※4/18~5/20 休館

(2) 7/18(土)~8/31(月)夏の企画展「化石って何？」

(3) 12/19(土)~2/28(日)冬の企画展「絵本でふれる！恐竜ワールド」

II その他事業(地域活性化事業)

◆新型コロナウイルス感染の情勢を見据えながら継続して実施する事業

1 地域・情報戦略部会

(1) 緊急(有事)時の連絡体制や情報の受発信、会議体制の整備【I-2-(1)】

(2) デジタルマーケティングによるデータの蓄積・分析と的確なターゲットの設定【I-1-(1)】【I-4-(2)】(事業費：600千円)

- ・WEBアクセス解析サービス(Googleアナリティクス等)の利用により、ユーザーの分析、ターゲットの設定などを行う。
- ・国内外・年代別・男女別等、ターゲットの属性に合わせ、SNS(Facebook、Twitter、Instagram)による効果的な情報発信を図る。
- ・SNSやサーチエンジン(GoogleやYahoo等)におけるデジタル広告を活用し、認知、検討、行動(予約や購買)までの一連の情報発信による誘客を行い、デジタル広告へのアクセスデータを収集・分析し戦略を図る。

(3) 地域と連携した観光・物産情報の収集と発信【I-1-(2)】(事業費：1,241千円)
ビューロー会員や関係団体等が、ビューローWEBサイトを共有の情報発信ツールとして積極的に活用できる体制の構築、最新情報の収集を図る。

(4) 多言語による情報発信【I-4-(1)(2)】(事業費：150千円)

- ・WEBサイト(観光情報サイト)への自動翻訳機能の導入を検討する。
- ・SNS(Facebook、Twitter、Instagram)において、翻訳機能の活用や多言語の情報発信により、フォロワー数の向上に努める。

- (5) 多様な媒体を活用した情報発信【Ⅰ-5-(3)】(事業費：800千円)
多様な媒体(TV・ラジオ・マスコミ・デジタル広告・旅行雑誌・チラシ・ポスター等)の選択及び複合的な活用により、ターゲットに応じた効果的な情報発信に努める。
- (6) いわき市総合観光案内所の機能充実【Ⅲ-5-(1)】(事業費：6,000千円)
お客様の利便性向上を図り、タブレット等の活用による多言語での案内に努める。

2 地域・物産振興部会

- (1) ネット販売の強化【Ⅰ-1-(2)】(事業費：669千円)
産品販売WEBサイト(ビューロー運営)を積極的に活用し、商品の充実と顧客情報の獲得、需要の把握に努める。
- (2) 食文化のブラッシュアップと提供【Ⅲ-1-(3)】(事業費：1,991千円)
「常磐もの」や「さかなの日」の普及宣伝により、食の認知度向上に努める。
- (3) いわきオリジナルアロハシャツ制作・販売【Ⅱ-1-(2)】(事業費：5,886千円)

◆新型コロナウイルス感染症の情勢を見据えながら取り組む事業

1 地域・情報戦略部会

- (1) 多言語による情報発信【Ⅰ-4-(1)】(事業費：150千円)
多言語版WEBサイト(英語・繁体字・簡体字・韓国語)について、効果的なリンク先の設定や、本市に在住する外国人との連携による母国語での情報発信に努める。

2 観光・誘客推進部会

- (1) 「フラ」をテーマとした事業の推進【Ⅱ-1-(1)(3)】(事業費：1,420千円)
 - ・各種イベントやキャンペーン等において、関係団体との連携により、「フラ」をテーマとした誘客を図る。
- (2) テーマ別観光(各種着地型ツアー)の推進
【Ⅱ-2-(1)】【Ⅰ-5-(1)】(事業費：1,420千円※(1)と同事業)
 - ・各種団体との連携により、本市の豊かな自然資源や歴史、文化等を活用した周遊コースの設定や、テーマ別旅行商品の造成に取り組む。
 - ・団体客の誘致及びテーマ別旅行商品の周知、販売を行うため、旅行エージェントとの商談会へ参画し、国内外の旅行会社等に対する営業活動を行う。
- (3) 広域連携ルートの構築【Ⅱ-3-(1)(2)(3)】(事業費：1,420千円※(1)と同事業)
いわき震災伝承みらい館や、双葉地域を含む浜通り地域と連携し、震災学習をテーマとした広域連携ルートづくりを行う。
- (4) 教育旅行・合宿やMICEの誘致【Ⅱ-4-(1)(2)】(事業費：2,200千円)
 - ・県や(公財)郡山コンベンションビューロー、NPO福島学グローバルネットワーク協会等と連携し、教育旅行誘致のための営業活動に参画する。
 - ・コンベンション開催の補助制度を活用した団体客の誘致を行う。

- (5) 訪日外国人旅行者の誘客【Ⅱ-5-(1)(2)】(事業費：600千円※国の補助金も活用)
- ・地元関係者と連携し、現地旅行会社との商談会やプロモーション等に取り組む。
 - ・観光庁や東北地方整備局との事業連携や補助金を活用し、訪日グローバルキャンペーン・コンテンツ造成事業や日本版持続可能な観光指標のモデル地区選定、専門人材派遣等の事業に取り組む。

3 地域・物産振興部会

- (1) 産品の販路拡大【Ⅰ-5-(1)】(事業費：2,250千円)
各種見本市やイベントに併せたバイヤーとの商談会へ参画し、バイヤー等に対する営業活動を行う。
- (2) 各種物産展・イベントへの参画と「朝市」の検討【Ⅲ-2-(2)(3)】(事業費：5,691千円)
・市内におけるいわき大物産展や「朝市」の開催、首都圏における各種物産展・イベントへの事業者の出展支援を行い、産品の育成と販路拡大を図る。
・県及び県観光物産交流協会と連携し、「日本橋ふくしま館 MIDETTE」におけるいわき産品の常設販売や認知度向上と販路拡大を図る。
- (3) 産学官・農商工連携による新たな商品造成や地域産品の活用促進
【Ⅲ-2-(1)】(事業費：5,691千円※(2)と同事業)
・助成金等の活用による「ふるさと産品」の造成を支援し、産品の育成による地域経済の活性化及び地場産品の魅力向上を図る。
・市内企業や商工業者、関係団体、学生が造成する商品の活用や販売を支援する。
- (4) 民・工芸品の伝統の継承と魅力の向上【Ⅲ-2-(5)】(事業費：5,691千円※(2)と同事業)
クラフト展等の開催による認知度向上と魅力の向上を図る。

4 いわき市石炭・化石館の運営(運営検討委員会)

- 【Ⅲ-3-(3)】(公益事業：13,000千円)(委託事業：84,969千円)
安全な館の運営に努め、定期的かつ誘客につながる企画展の開催や受け入れ態勢における学芸員による展示物等の解説、教育旅行等の積極的な誘致を行い、より一層の魅力アップと情報発信を行う。

5 委託事業

- (1) いわき市総合観光案内所運営事業【Ⅲ-5-(1)】(事業費：6,000千円)
(2) サンシャインガイドいわき事業【Ⅰ-3-(3)】(事業費：3,000千円)
(3) 海開き事業【Ⅲ-1-(2)】(事業費：450千円)
(4) いわきおどり事業(夏季実施の中止)【Ⅲ-4-(2)】(事業費：14,257千円)

6 他団体との連携事業

- (1) いわきフィルムコミッション協議会の運営
【Ⅰ-3-(2)】【Ⅲ-3-(3)】(事業費：2,460千円※協議会事業も活用)
(2) いわき観光共同キャンペーン事業の運営【Ⅰ-3-(2)】(実行委員会事業費を活用)